

# The Rafaela TIMES

10月号

発行：10月26日（火） 編集：ラファエラ・マリアセンター 広報グループ



▲捨てればゴミ、生かせば資源

コンタクト空ケースは、コンタクトレンズのアイシテイが行っているエコプロ

皆さんは、コンタクトの空ケースを1ヶ月にどれくらい捨てているかご存じだろうか。ワンデイを利用している人なら、30日×両目＝60個！seoグループでは、いつもは捨ててしまっているコンタクトケースを回収し、ボランティアに活用している。

コンタクト空ケースは、コンタクトレンズの専門店「コンタクトレンズのアイシテイ」が行っているエコプロ

ジェクトである。もともとは私（伊藤）の母校で行われていたボランティアで、清泉でもやってみたくて企画。本格的に回収

からだ。のは7月を始めた。では、回収されたコンタクトケースはどうなるのだからか。集められたケースはリサイクル工場へと運ばれる。リサイクルへ回す準備作業を障害者へ依頼することで障害者の「自立・就労の支援」を生む。リサイクルにより得られた収益を「日本アイバンク協会」へ全額寄付する



▲銀のフィルムは捨ててね

ことで、角膜移植が必要な方々が視力を取り戻すことができるようになる。コンタクト空ケースの回収は、障害者や角膜移植が必要な方など多くの人の役に立つボランティアなのだ。

回収用ボックスはラファエラ・マリアセンター前に置かれている。コンタクトレンズを使っている方は、どうか空ケースを捨てずにセンターに持ってきてほしい。

（史1・伊藤）

## みんなが集めて人助け コンタクトケース回収中

ースはリサイクル工場へと運ばれる。リサイクルへ回す準備

## 板橋区平和フォーラム seoグループから2名登壇

10月9日（土）に大

原生涯学習センター（板橋区）にて「平和について学び・考えるフォーラム コロナ禍の紛争地では何が起きているのかーパレスチナの人々の生活を通して考えるー」が開催され、第一部にseoグループの吉田彩乃さん（英3）、伊藤愛さん（史1）がオンラインで登壇した。第一部は、センター主催のオンライン写真展「望郷の地パレスチナと福島」にあわせて、古居みずえさん（映画監督・ジャーナリスト）と長沢栄治さん（東京大学名誉教授）の対談が組まれた。seoグループのふたりは、対談に先立ちオンライン写真展を紹介。



▲写真展は10月31日まで公開

当日はやや緊張した面持ちだったふたりにインタビューし、フォーラムに登壇した感想をうかがった。まずは「私」の一枚。撮影への思い、それゆえに後には良文化、広域文化を人目にしています。それはフェイスブックとも共通するところだ。



▲ふるさとへの想いは世界共通

（史3・高橋）

▶サイト限定新企画公開！



第二の「The Rafaela TIMES」として月に一度更新中のセンターサイト。9月よりサイト限定で先生方へのインタビュー記事「突撃！となりの研究室」を公開している。記念すべき第一弾は坂田奈々絵先生（文化史学科）。坂田先生の職業病やユニークな特技にも迫った。



▲何をしていますでしょうか？

今年、例年販売している修道院のお菓子を売ることがなかなかなかった分、雑貨制作に力を入れている。制作が大詰めを迎えている現在、センター

今年、例年販売している修道院のお菓子を売ることがなかなかなかった分、雑貨制作に力を入れている。制作が大詰めを迎えている現在、センター

今年もアレンジメントで楽しく華やかなクリスマスを感じてほしい。（英3・徳光）



▲リース制作キット

その日の夜にはイルミネーションが点灯する。また、清泉のアドヴェント期間の昼休みには、アドヴェントフェスを開催する。ダンス、音楽系サークルが一緒にクリスマスを盛り上げてくれる。（英3・村岡）



▲一昨年の点灯式

# 教会巡り in 白百合女子大 対面参加枠残りわずか！

企画し、白百合のチャペルを訪問する。当日は、白百合の学生によるチャペル案内



▲美しいステンドグラス

能だ。（史3・高橋）

10月26日現在、対面参加枠が5人分残っている。先着順のためお早めの申し込みをおすすめする。なお、プログラムによってはZOOM参加も可能だ。（史3・高橋）

11月13日（土）に開催される「教会巡り」。今回は大学チャペル編として、白百合女子大学コイノニアルーム（宗教行事を運営する部署）と共同で

案内後の懇親会では、コイノニアルームの学生と交流できるほか、坂田先生によるミニ講義の時間もある。10月26日現在、対面参加枠が5人分残っている。先着順のためお早めの申し込みをおすすめする。なお、プログラムによってはZOOM参加も可能だ。（史3・高橋）

11月6日（土）、7日（日）の清泉祭に向けて、リタジীগ룹清泉祭担当が準備を進めている。今年、松ぼっくりを使った動物の置物やハーバリウムに加え、アロマワックスサシェを販売する。

## もうすぐ清泉祭



り上げは東日本大震災の被災地の子どもたちが20歳になるまで支援する「ハタチ基金」に全額寄付する。センターからは、リタジীগ룹のほか、seoグループとイブラ・ワ・ハイト清泉ガールズも出店する。在学生はお目当ての出し物の合間に会場の清泉カフェにも立ち寄ってほしい。（英3・村岡）



▲限定のイヤリング

に黄色い声飛び交うほどかわいらしいグッツがどんどん完売している。なお、売

## ラス・フロレス

今年度は、正門と1号館に飾られるクリスマスリースと、アドヴェントクランツ、そこに添えるメッセー

今年度の点灯式は、11月17日（水）の昼休みに本館で行う予定だ。聖書朗読と神父のお話、聖歌隊の聖歌披露、学生有志によるハンドベル演奏と盛りだくさんの内容だ。

## クリスマス企画



## アドヴェント